

【浄智寺】 (臨濟宗 円覚寺派)

鎌倉五山の第四位。弘安4年(1281)頃、執権北条時頼の三男宗政の菩提を弔い、宗政とその子師時を開基として宗政の妻が建立。現在の建物は関東大震災後に再建。曇華殿と呼ばれる仏殿には、本尊の三世仏坐像が祀られている。阿弥陀、釈迦、弥勒の三体からなる仏像は15世紀の作。過去、現在、未来を表す。“甘露ノ井”(鎌倉十井)・鎌倉七福神(布袋尊)

天柱峰： 浄智寺背後の山。標高97m。 建武元年(1334)浄智寺住持となった中国僧、竺仙梵僊(シクセンボンセン)が命名。天柱は世を支える道義の意で地維と対比。碑は昭和16年建立。

【葛原岡神社】 (くずはらがおかじんじゃ)

源氏山公園の一部、葛原ガ岡自然公園の一角にある。元弘2(1332)年6月3日、日野俊基が倒幕の首謀者としてこの六本松の下で処刑された。明治21年(1888)に建立され、俊基を祀る。

【源氏山公園】 開園1965年(昭和40)

標高93mの自然公園。公園中央に頼朝鎌倉入り800年を記念して建てられた源頼朝の銅像が立つ。源頼朝の祖先頼義が前九年の役で奥州征伐に発つとき(義家が後三年の役で奥州征伐に発つときの説あり)、この山に白旗を立てて戦勝祈願したと言われる。

【寿福寺】

鎌倉五山の第三位。源頼朝が亡くなった翌1200年(正治2)に、妻の政子が栄西を開山として創建。総門をくぐると50mほどの石畳の参道が一直線に続く。参道の正面に仏殿、右手に鐘楼と庫裏等が立つ(拜観は出来ない)。山門左手、仏殿背後の墓地に北条政子、源実朝の墓と伝わるやぐらや、高浜虚子、大仏次郎らの墓がある。

【鶴岡八幡宮ほんぼり祭り】

鎌倉在住の、各界で活躍する人々に揮毫(キウ)してもらった書画が雪洞(ボンホリ)に仕立てられ、鶴岡八幡宮を飾る。 立秋前後の3～4日間、本年は8/6夏越(ナゴシ)祭、8/7立秋祭、8/9実朝祭。第一回は、昭和13(1938)年。